

もくじ 今号の内容

●「子どもが文化を担う」 ～教育委員のひろば～

【教育政策課】 P 1

吉井教育委員からの寄稿文を紹介します。

●次世代育成支援のための「第3期特定事業主行動計画」について

【教育政策課】 P 2

次世代育成支援対策推進法に基づく、第3期特定事業主行動計画について紹介します。子どもを生み育てやすい職場づくりに向けて、皆さんの職場でも是非計画をご覧になって、より良い職場づくりについて話し合ってみてください。

●「親の学び」研究指定校事業

【社会教育課】 P 3

高等学校における「くまもと『親の学び』プログラム」の効果的な活用について、研究指定校を指定して、研究・実践に取り組んでいます。研究指定校は、熊本県立小国高等学校です。小国高校での取組の様子を紹介します。

●特別支援教育なう Vol.1 3

【特別支援教育課】 P 4

特集1 インクルーシブ教育システム構築モデル事業 ～鹿本農業高校の挑戦～

特集2 各学校のユニバーサルデザインの取組

～スライドを用いない視覚化～ 八代農業高等学校泉分校の実践

●平成27年度「くまもと教育の日」県民フォーラムを開催しました！

【教育政策課】 P 6

県教育委員会では、「くまもと教育の日」の取り組みの一環として、11月14日（土）に県民フォーラムを開催しました。

フォーラムでは、各種表彰式、坪田信貴氏による講演を実施しましたので、その概要を紹介します。

●「熊本県いじめ防止高校生会議」の開催について

【高校教育課】 P 7

「熊本県いじめ防止基本方針」に基づくいじめの防止等の取組の一つとして、県教育委員会は、「熊本県いじめ防止高校生会議」を開催しました。

●熊本県人権子ども集会を開催

【人権同和教育課】 P 8

県内の学校や地域からおおよそ8,500人の参加のもと、子ども実行委員の運営により、体験・活動報告、全体活動、集会アピール採択を行いました。

●人権尊重の精神に立った学校づくり～人権教育研究指定校の取組紹介～

【人権同和教育課】 P 10

平成26・27年度文部科学省、熊本県教育委員会指定の人権教育研究指定校である芦北町立佐敷中学校の取組を紹介し、「授業づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を連動させた取組を実践しています。

●どの子ども楽しく「分かる・できる」授業のユニバーサルデザイン

【上益城教育事務所】 P 11

御船町立小坂小学校では、ユニバーサルデザインの視点に立った授業改革を行い、どの子どもにも楽しく、分かる・できる授業を目指しています。

●学校の取り組み

○創立110周年記念式典と総合学科高校としての新しい歩み

【県立翔陽高等学校】 P 14

創立110周年記念式典の様子と、整備された教室棟や実習棟の状況、一新されたカリキュラムや系列名を紹介します。総合学科とはどのようなものか、翔陽高校はどのような学校なのかを知っていただきたい。

○矢部高校緑科学科「山都町特産品プロジェクト」

【県立矢部高等学校】 P 15

通潤橋模型、清和文楽パズル、ブルーベリーのベリーちゃん積み木を製作

○「非常用ソーラー多目的電源装置の製作」～停電でも心配ご無用！～

【県立小川工業高等学校】 P 17

非常時に活用できるソーラーパネルを搭載した多目的電源装置を製作しました。停電でもスマートフォンを充電したり、照明を点灯させたりすることができます。

○高等部作業学習「清掃班」の取組

【県立荒尾支援学校】 P 18

本校では、本年度から新しく「清掃班」を発足しました。卒業後の就労生活で求められる職業スキルの指導充実を図るための取組について紹介します。

○アール・ブリュット移動美術館 with ARA・SHI アートギャラリー
【県立荒尾支援学校】 P 19

本校では、地域への啓発、また、子どもたちの感性を育むための活動としての美術教育に取り組んでいます。本校の美術教育と、アール・ブリュット移動美術館と合同で開催したARA・SHIアートギャラリーについて紹介します。

○サービス関連の就労に必要な力をつける作業学習～総合サービス班の取組～
【県立熊本支援学校】 P 20

近年、知的障がいのある人たちは、サービス関連の業種に多く就労しています。熊本支援学校では、サービス分野への就労に向けて、作業学習では総合サービス班を新設して、非ものづくり系の学習活動に取り組んでいます。今年度発足した本校高等部の取組と、これまで積み上げてきた東町分教室の取組をそれぞれ紹介します。

○僕らの旅～フェリーや電車を使って長崎へ～ そして「平和」を考える
【県立天草支援学校】 P 21

小学部2人の子どもたちは、フェリーやバス、電車を乗り継いで長崎へ修学旅行に行きました。5・6年生の子ども達を感じた平和とは……。取組の様子を紹介します。

○「ひのくに高等支援学校における原動機付き自転車の交通安全指導実践報告」
【県立ひのくに高等支援学校】 P 22

ひのくに高等支援学校における原動機付き自転車の交通安全指導。過去問による座学演習だけでなく、夏期講習会、免許センターでの本試験受験、実地演習、近隣の自動車学校における実地講習、またさらなる交通安全教育のために普通自動車免許の受験内容も実地も含めて合わせて教えています。

○「小国わくわくワークショップ～地域はもう一つの学校～」報告
【県立小国支援学校】 P 24

11月に開催された「小国わくわくワークショップ～地域はもう一つの学校～」について報告します。

学校職員・保護者・地域の方々に編成されたグループでの意見交換の様子などをご紹介します！

つながる取り組みを是非ご覧ください。

●2016年、熊本県立美術館は40周年を迎えます
【県立美術館】 P 26

1976年、美の殿堂を求める県民のみなさまの熱い支援を受け、熊本城二の丸の地にオープンした県立美術館。2016年に開館40周年を迎えるにあたり、記念事業を実施します。

- 学芸員が出向いて体験教室やっています。

【県立装飾古墳館】 P27

装飾古墳館の活動を広く周知したい。

- 「文学」と「歴史」を学び、熊本を知る、楽しむ くまもと文学・歴史館開館！

【県立図書館】 P28

1985年の開館以来、県民の皆様に親しまれてきた熊本近代文学館は、1年半の改修工事を終え、「くまもと文学・歴史館」に生まれ変わります。

新しい施設では、小泉八雲や夏目漱石ら熊本ゆかりの文学者の原稿や遺品など、これまでに収集した文学資料に加え、県立図書館が所蔵する熊本藩の検地帳や絵図、人吉藩主相良氏の古文書、明治時代の県関係公文書など熊本に伝わる歴史資料を展示します。

- 平成27年度（第16回）熊本県立教育センター研究発表会の御案内

【県立教育センター】 P29

県立教育センターでは、「『21世紀型能力』の育成に向けた児童生徒の主体的な学習の展開」のテーマの下、研究協力校と研究協力員と共に研究を進めています。その成果を発表しますので、先生方の参加をお待ちしています。



(写真提供) 県立装飾古墳館



(写真提供) 県立美術館



(写真提供) 県立図書館

教育くまもとは年間4回（4月、7月、10月、1月）発行しております。

記事の掲載依頼は、熊本県教育庁教育政策課 広報・情報班まで